

広聴特別委員会記録

令和2年6月17日

【開催日】 令和2年6月17日

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午後1時30分～午後2時

【出席委員】

委員長	吉永美子	副委員長	中岡英二
委員	伊場勇	委員	奥良秀
委員	水津治	委員	杉本保喜
委員	高松秀樹	委員	中村博行
委員	長谷川知司	委員	宮本政志
委員	森山喜久	委員	

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	小野泰	副議長	矢田松夫
----	-----	-----	------

【事務局出席者】

事務局長	尾山邦彦	事務局主査	島津克則
------	------	-------	------

【付議事項】

- 1 市議会モニターについて
- 2 その他

午後1時30分 開会

吉永美子委員長 ただいまより広聴特別委員会を開会します。皆様のお手元に本日の付議事項があると思います。まず1点目として、市議会モニターについてということです。この度、6月15日まで募集を行いまして、公募4人程度に対して、有り難くも11人の方が応募してきていただいております。そのことについて、どうしていくかということで、本日の委員会で決めていくわけですが、皆様にお諮りをしたいと思うのですが、やはり活発な意見、また自由に意見を出していただくところから考えますと、市議会モニターの選考については秘密会という形を取りたいと思うのですが、いかがでしょうか。特に異論がなければ、異議なしということでもいいですか。

中村博行委員 今お聞きしましたところ4人に対して11名の応募があったということです。募集要項では公募が4人程度、全部で10人程度であったと思うんですけど、今回議会報告会とか、そういったものを中止している関係があつて、より多くの意見を求めるということになれば、11名、せっかく応募された方については全員受け入れたらどうかというふうな考え方をしています。むしろ選考して、当落が決まるような形になると、その理由等がなかなか難しいようなこともあろうかと思ひますので、現状はそういった意味で、文書等で意見を頂くとかということも含めて考えれば、全員の方にモニターになっていただいたらどうかと思ひます。設置要綱等に大きく外れる部分はあると思うんですけども、私の意見としてはそういう考えを持っております。

吉永美子委員長 中村委員としては選考しないで、全員ということですね。

宮本政志委員 公募11名と団体が6名、それ全員ということか、若しくは選考するということか、あるいは11名の中で、新しい方、古い方とかいろいろいらっしゃると思うんで、三つの選択しかないと思うんですよね。その辺りをちょっと議論されたらどうかなと思ひます。

吉永美子委員長 という御意見がありまして、いずれにしても、11名全員にするにしても、選考するにしても、今の言われた三つをどうするかということの議論をしないといけないと思ひますので、秘密会にしたいと思ひますが、よろしいですか。

高松秀樹委員 何のために秘密会するのかということなんですよ。今からやり方を決めて、選考しなければいけないという話になったときに、そこで初めて秘密会にしたらどうですかとすべきで、中村委員が言われるようなことで、オーケーなら秘密会にしてやる必要はないと僕は思っているんです。手持ち資料もないんで、何をもって秘密会なのかというのがはっきり分からないので、そこをしっかりと説明してもらわなければいけないし、決める順番が宮本委員が言われるように、先にそっちを決めて、後に秘密会だというならまだ分かります。

吉永美子委員長 ということなんです、その三つに対して議論をしていくと

いうところでも、活発にするために、私は秘密会にして議論したらどうかと思いました。

尾山議会事務局長 進め方ですが、事務局としましては高松委員がおっしゃった選考すると決まった段階から、この人はどうだ、あの人がどうだというような議論も出てくることでしょうか、その時点で秘密会にされるのが一番良いのではないかというふうに思います。

吉永美子委員長 そうなると、どうしていくかということですが、最初に中村委員が言われた11名全員というところについて、委員の皆さんから意見を聞きます。11名全員でやっていただくのか、それとも選考するのかということですね。そこで御意見を頂けたらと思います。

中岡英二副委員長 私も今言われた中村委員の考え方と一緒にです。今コロナの関係で議会報告会もない。確かに公募の中では4人程度となっておりますが、せっかくこれだけの方が公募で来られて、議会に関心を持っておられるということは本当に有り難いことだと思うんですよ。そうした中で、この人は良い、悪いというよりも、全ての方を選考というか、モニターとして採用して、モニターの数が増えるということで、やり方にも多少の工夫は要ると思います。これだけの人数の話を一遍に聞くのか、二つに分かれてやるのか、方法はあると思いますが、私はこうした方の御意見を数多く、今回に限っては選定基準というのがはっきりしてないですよ。断る理由が私には見つかりません。だったら、皆さんの意見をよく聞くという形で、中村さんの意見と同じで、全ての方をモニターとして採用したらどうかと思います。

吉永美子委員長 ほかの委員の皆さんいかがですか。

森山喜久委員 私のほうも聞いている中で言ったら、11人全部選考してもいいのかなというふうに思いました。

長谷川知司委員 応募された方がどういうように偏っているかどうかが分からないんですが、基本的に幅広く聞くという意味であれば、全員の方の採用も私はいいと思います。ただ心配するのは、あまりにも偏った地域、思想、団体とかあれば、そこは選考が必要かなと思います。今回の申込

書には、どういう団体に属しているかというのもないので分からないと思いますが、地域だけでも、もし極端な偏りがあれば、そこは皆さんで話すべきかなと思います。原則的には採用したいですが。

吉永美子委員長　ということは、長谷川委員は11名全員というところは三角ということですね。（「そうですね」と呼ぶ者あり）三角ですね。

水津治委員　応募されている方の名簿がないので分からないんですが、年齢、性別、居住地等を参考にとということで、これが今言ったように資料がないので、判断しにくいところがまずあるんですが、人数を制限するためにお断りする人が出てくるということは、今回は避けたほうがいいと思います。それはなぜかという、やはりこれだけ多いことを想定した最初の審議をもう少ししておけば、また違ったかなと思います。私も責任があると思います。そういったことがないので、今回は全員ということが妥当ではないかなというふうに思います。全員モニターになっていただくということが妥当ではないかなと思います。

奥良秀委員　実際問題これだけ多くの方が、公募の人数よりもいらっしゃるということに、実際うれしい悲鳴というか、考えなくてはいけないのかなと思います。確かに要項の中には4名と書いてありますけど、こういうふうに興味があって、いろいろな御意見をお持ちの方がいらっしゃるのであれば、また、いろいろな意見を聞いていけばいいのかなと思っていますので、今回は皆さんが言われているとおり、全員来ていただいて、意見を述べてもらうという形でいいと思います。

杉本保喜委員　皆さん、せっかく17名集まったということで、みんなから意見を頂きたいという気持ちは私も同じです。ただ、最初に私たちが募集をするときに公募は4人程度。応募者多数の場合は年齢、性別、居住地等を参考に選考という括弧書きがありますよね。先ほど、ほかの議員からもその辺の選考はどうするのというような意見が出ております。この辺りのところをしっかり踏まえて、決める必要があるかなというふうに思っています。

伊場勇委員　僕は11名と団体推薦の6名で17名と多いですけど、全員にモニターになっていただきたいなというふうに思います。ただ、杉本委員

もおっしゃいましたが募集要項と設置要綱の10人程度というところと、
どういったところで整合性をとるのかというところは、しっかり整理す
べきだなというふうに思います。

宮本政志委員 もともと公募4人程度、これをはるかに超えた場合どうするか
という議論はしておりませんし、中村委員が最初におっしゃったことと
全く同じです。今度はモニターさんの数が多いですから、モニターさん
の御意見を、どうやって広聴として集約していくかということも大事か
なというふうに思っております。

吉永美子委員長 宮本委員は11名全員で、選考はなしということでもいいとい
うことですね。（「はい」と呼ぶ者あり）

高松秀樹委員 多くの人に出してもらって非常にうれしいなという気がします。
募集要項にはトータルで10人程度、実際17人になっているんですけ
ど、反省とすれば、募集要項の作り方が非常に甘かったなということ
です。なぜ11人、公募全員かということ、結局、明確な選考ルールを我々
が作っていなかったという手落ちの部分があります。つまり選考できな
いということになってしまうので、そうなれば、この11人の公募で集
まった皆さんに対し、委嘱をすべきだというふうに思います。

吉永美子委員長 大体の方が、今回については、要項等をもうちょっと細かく
していなかったというところの反省も踏まえ、応募していただいた11
名でいいのではないかというところなんです、そうなってくると選考
というところはしなくていいということになるんですけども、先ほど投
げ掛けをされた長谷川委員と杉本委員はいかがですか。議論しなくてよ
ろしいでしょうか。

長谷川知司委員 私も原則は、皆さん意欲的に応募されたのであれば、採用さ
せていただきたいなと思います。ただ、余りにも一つの地域に固まって
いるということがあったときにどうかなというのがあったので、それだ
け確認しておきたいなと思います。多かったらどうするかというのは考
えてないんですけど、どういうメンバーかだけ確認させてもらえればと
思います。

吉永美子委員長 事務局、地域の確認をお願いします。

島津議会事務局主査 地域についてですが、山陽地域は厚狭地区、津布田地区、山川地区が2名、埴生地区が1名で、計5名。小野田地域は高千帆地区が2名、須恵地区が2名、高泊地区が1名、赤崎地区1名で比較的ばらばらな感じになっております。それからあと年齢構成ですけども、50代の方が2名、60代の方が5名、70代が4名となっております。公募の方はですね。それから男女比は、男性が9名、女性が2名となっております。

長谷川知司委員 今聞いた以上であれば、私は11名、皆さん採用しても支障はないかなと思っております。

杉本保喜委員 せっかく先ほどみんなから意見があったように、せっかく応募していただいたんだから、その辺りは皆頑張っていただけたらなというふうには思います。ただ、先ほど私が申しましたように、全般的に広く意見を求める形を私たちは常に心掛けながら、これからやっていかなくてはいけないと思うんですよね。その辺りをしっかり、みんなで議論しながら進めていく必要があるというふうに思います。

吉永美子委員長 今の広く意見を求めるというところで、2番目に主な役割とありますけれども、今回新たにしているところが調査、(5)ですね。こちらが何か投げ掛けをしたことに対して、市議会からということ、やはりしていただきたいというところを出したので、是非こちらが意見を頂くと、投げ掛けをするということ、新たに意識していきたいと思っておりますので、この辺は広聴委員会で、せっかくの市議会モニターさんがいろんな思いを持って応募してくださっていますので、積極的に意見を頂くと、こちらから投げ掛けるということ、是非やっていたらと思っておりますので、よろしくをお願いします。皆様にお諮りした中では、せっかく応募していただいたというところで、11名全員ということで、本来であれば公募の4人程度を大きく上回る、ある意味うれしい悲鳴なんですけど、今回については11名全員になっていただくということで、おかげさまで秘密会にする必要はありませんでした。ありがとうございました。この点についてよろしいでしょうか。(「はい」と呼ぶ者あり) 2番目のその他にいきます。その他ですが、まず、残念ながら6月議会

報告会中止の件です。このことにつきまして、皆様のお手元にチラシがあると思います。今回、前回とちょっと違う、PR部会で作成をしていただいた部分で、3段目の3月議会報告会に引き続きというところが新たに加わっておりますとともに、なおの一番下、開催に向けということで、市が中止をしている自発的にやっている事業が8月末までということになっております。基本的に9月議会は10月末に行うのが基本ですので、そういったことも踏まえると、何とか開催に向けての検討をしたいというところで、また、あつてはいけないんですが第2波、第3波があったらまた違うので、今後の動向を見ながらということになっております。PR部会のチラシについては、ほかの企画部会の皆さんいかがでしょうか。これでよろしければ、出したいと思います。異議なければ、よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、このチラシと、あと、これを配っていただけますか。（資料配布）今回、議会報告会中止の周知について、前回と同じように市広報をお願いします。それと議会ホームページ、議会フェイスブックに事務局で上げていただく。それから事務局から宇部日報をお願いしていただく。それと皆さんから承認いただいたチラシを一人当たり3枚、これを24日に議員の皆様にご配するという。それと6番目に、会場にポスターを広聴特別委員会のメンバーで手分けして貼ります。ここで決めておきたいと思います。本山公民館。

中岡英二副委員長 本山公民館、きらら交流会に行きます。

長谷川知司委員 赤崎公民館と体育館に貼ります。

奥良秀委員 須恵公民館と中央図書館と商工会議所に貼ります。

杉本保喜委員 高千帆福祉会館に行きます。

吉永美子委員長 有帆公民館は私が行きましょう。

中村博行委員 高泊公民館と厚陽公民館に行きます。

森山喜久委員 厚狭複合施設。

宮本政志委員 出合公民館と山陽商工会議所に行きます。

伊場勇委員 津布田会館。

水津治委員 埴生公民館。

吉永美子委員長 高松委員はどうします。(発言する者あり)なしでいいですか。分かりました。24日には、事務局のほうで控室に用意していただきまますので、必ず持って帰っていただいて、貼っていただくようお願いいたします。議会報告会の周知については、これで終わります。そして、現モニターさんとの意見交換会が決定しました。6人が出ていただく、これがマックスでしたので、よろしいですか。6月30日18時、部屋はどこになりますか。

島津議会事務局主査 広いほうがよければ大会議室。

吉永美子委員長 大会議室で行いましょうか。大会議室で6月30日18時から1時間半程度ということで、すぐ案内を現在の8人、いや6人ですね、二人は来られないので、案内をしてもしようがないでしょうから、6人に対して出していただきます。大会議室で。このモニターとの意見交換会の6月30日についてですが、企画部会で作っていただいたんですが、集合時間をせつかくなので決めておきたいんですが、企画部会が先に集合されますか、部会長。皆さん一緒に大丈夫ですか。事前にしておきますか、いろんな細かいことの打ち合わせを。

高松秀樹委員 17時に集まりましょうか、皆さんいいですか。(「はい」と呼ぶ者あり)

吉永美子委員長 PR部会は30分でもいいでしょうか。

高松秀樹委員 いいですよ。PR部会の皆さんはどうぞごゆっくり。企画部会の皆さんは1時間前集合で、そんなに準備はないと思いますので、よろしくをお願いします。

吉永美子委員長 企画部会は17時集合、PR部会は17時30分までに、6月30日は来てください。流れについては出していただいた流れでやら

せていただきます。議長、副議長は大丈夫でしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）6時までに、申し訳ありませんが来てくださいますようお願いいたします。そして、次は新モニターの皆さん、17名の委嘱状交付式及び意見交換会を、今回こういう職務でお願いしますとか、その中で質疑があれば受けたいと思いますし、以前から言っていますが7月1日から3日の間でモニターさんに投げ掛けて、夕方18時から、これも1時間半程度にしたいと思うんですがいかがですか。（「はい」と呼ぶ者あり）今日新モニターさんは17名で決定しましたので、事務局のほうから新モニターさんに7月1日から3日で御予定いかがですか、18時ということで1時間半程度、来ていただくようお願いしたいと思います。これについても、どういうふうな内容にするかというのをどうしますか、企画部会長。新しいモニターさんの委嘱のお願いと意見交換の式次第等ですね。日程は決まればそれだけなので、どうしますか、内容等について。

高松秀樹委員 皆さんから意見を頂ければ、企画部会のほうで作成します。

吉永美子委員長 これは前回のときを参考にさせていただいて、一応たたきを作っていたらいいんじゃないかと思うんですが。

高松秀樹委員 前回同様でやるのに御異議がなければ、前回同様の次第を作ってきます。

吉永美子委員長 それを皆さんに出していただいて、24日に改めて委員会を開くようになっていきますので、24日のときに決定をしたいと思います。本会議終了後に行いますので、よろしいですか。ここまでよろしいですか、皆さん。（「はい」と呼ぶ者あり）最後4点目が、（発言する者あり）はい、どうぞ。

長谷川知司委員 今回の件なんですけど、6月30日と7月の中旬がですね、ないと思いますけど、もし防災で、いろんな警報とか災害とかで出ることがありますので、そのときはそちらを優先して、これはもう中止というのは早目に決めてやるように、委員長、そのときは判断をお願いします。

吉永美子委員長 はい、分かりました。あつてはいけないけど、万が一台風とか水害とかがあったときには、そちらが優先ということで対応します。

ここまでよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）4点目ですが、以前の委員会で申しあげました、議会報告会が2回もできない中で、広聴特別委員会の活動として、広報に広聴のページを頂くというところだったんですが、広報特別委員会委員長とお話をすると、かなりのページを使って新型コロナ感染症対策特別委員会の報告を入れるそうです。ですので、広聴特別委員会としては1ページを頂きましたので、1ページの中で、PR部会でたたきを作っていただいて、広聴特別委員会の活動ですね、また市民の皆さんに投げ掛けとかですね、そういったところをしていただきますので、それをまた、PR部会以外の企画部会で皆さんにこれでどうですかということを行いますので、是非1ページをしっかりと、今回初めてコラボになりますから、広報特別委員会と広聴特別委員会が、すばらしいでしょう。ということで、良い御報告ができたなと思います。ほかにはその他よろしいですか、皆さんのほうから。（「なし」と呼ぶ者あり）なければこれで閉じますが、PR部会の方、申し訳ありませんが少し議論しないとイケないので、残ってください。以上で広聴特別委員会を終わります。

午後2時 散会

令和2年6月17日

広聴特別委員長 吉 永 美 子